

6. 生活介護事業所「京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター」 生活介護事業・特定相談支援事業所

(1) 総括

本年度初め早々より、新型コロナウィルスの影響で通常運営することが難しい状況ではあったが、当事業所の感染防止対策状況(手すり、床、送迎車内のハイター消毒の実施、定期的な換気、職員の手洗い・アルコール消毒の励行、空気清浄機・飛沫防止パネルの設置等)や緊急事態宣言下での運営方針等を隨時、発信する等、利用者やご家族に不安を抱かせないよう迅速な判断、対応に努めた。併せて、利用者及び職員の体調管理（通所前検温の実施、日中の様子観察、不要不急の外出を控える等）も強化し、利用者、ご家族、職員皆が一つのチームとなり、意識高く協力し合いながら、コロナ禍での窮地を感染者なく乗り切ることが出来た事は、これまで積み重ねてきた信頼関係の賜物だと考えている。

利用を継続される利用者に関しては、日中生活場面や食事場面の分散等3密状態の回避等感染、拡散防止対策に努めながら支援は継続するも、日中活動の一部自粛(クッキー活動、コーヒーサロン、空き缶つぶし活動等)、秋の外出の自粛、ボランティア受け入れの自粛(紙芝居サークル、ゴスペルコンサート、消防隊吹奏楽コンサート)、生産展やふれあいの里秋祭り、桂坂保育園園児を迎えたクリスマス会の中止等、年中行事等が実施できない状況であった為、職員各々が利用者の日中の過ごしや余暇の充実について考え、試行錯誤しながら取り組みを進めた。また、利用を自粛される利用者(4月の緊急事態宣言発出時には、最大11名/日)に関しても、支援の形を“在宅支援”(周辺散策、身体ストレッチの施行、排泄介助、電話での様子確認・ご家族の相談等)に切り替え、支援を継続することで、利用者の生活の充実やご家族の心身面の負担軽減に少しでも繋げることが出来るよう努めた。

上記、コロナ禍での対応については、年度末に実施した個別懇談会や満足度調査においても、ご家族、利用者より評価を頂いており、信頼関係をより深めるものとなった。

令和2年度は皆が不安を抱きながらの一年であったが、令和3年度は、本年度の経験を活かし、コロナ禍で生まれた良い生活や支援の形は残しつつ、“withコロナ”を念頭に置いた動きある事業を展開し、職員がアイデアを出し合いながら利用者の生活のさらなる安心と充実を目指していきたいと考えている。

(2) 職員体制（令和元年度末現在）

管理者 1名、サービス管理責任者（兼務）1名

相談支援専門員（兼務）1名、

支援職員 15名（正規職員 6名、補助職員 3名、非常勤職員 6名）

看護師 1名（嘱託）

事務職員 1名（非常勤）

（常勤換算 13.3人）

(3) 利用者の状況（令和2年度末現在）

①在籍人数 26名 (男性 15名・女性 11名)
 定員 20名 (令和2年度 新規入所者 2名・退所者 1名)
 年間実施日数 242日 延べ利用者数 4727名 稼働率 97.5%
 平均障害程度区分 5.83
 一日平均人 19.4人

②年齢・男女別人数 (人) (歳)

年齢	20未満	30未満	40未満	50未満	60未満	65未満	65以上	計	平均年齢
男性	0	3	7	2	1	0	2	15	39.8
女性	2	4	1	3	0	1	0	11	33.7
合計	2	7	8	5	1	1	2	26	37.2

③起因疾患別人数 (人)

	男性	女性	計
脳性マヒ	4	5	9
脊髄損傷	0	0	0
脳血管障害後遺症	2	0	2
頭部外傷後遺症	2	0	2
その他の病気	7	6	13
計	15	11	26

④居住区別 (人)

行政区	西京区	右京区	計
男	10	5	15
女	9	2	11
計	19	7	26

⑤医療的ケアの対応

現在、医療的ケアが必要な方は3名。吸引、胃瘻、導尿、インスリン投与、血糖値測定を看護師が中心に行っている。

(4) 重点方針及び事業内容と取組結果

①デイサービスでどのように過ごすのか、利用者一人一人のニーズをしっかりと把握し、個別支援計画を作成する。個別支援計画に挙がったニーズは、重点項目としてデイサービスの日中活動に取り込み、1年後に達成できるように支援内容を工夫していく。

利用者一人一人がデイサービスでどのように過ごしたいのか、日々の関りや個別懇談会等の中で思いをお聴きし、ニーズの把握に努めた。そのニーズを個別支援計画に落とし込み、どのように支援すれば個々の利用者の望みを叶えられるか皆で検討し実践している。

また、重点的に取り組む内容を絞り、個別支援計画をシンプル化することで、ニーズの実現に向けての課題を明瞭にし、一つ一つスモールステップでの達成を重ねることで、利用者が望む生活の実現に繋げている。6ヶ月毎に個別支援計画作成とモニタリングを実施

し、ニーズの実現状況の把握、及びニーズの実現への次なるステップの抽出を行っている。

②日中活動の中身や利用者個々の支援内容は、毎月のチーム会議や職員会議、日々の反省会で振り返りを行い、P D C Aサイクルを活用しながら、常に問題点などを把握し、最良の支援となるように見直しを行っていく。

職員会議や日々の反省会等で個々の利用者支援の振り返りを行い、問題点があがつたケースについては、改善点を話し合い支援の見直しを行うことで、充実した生活を送って頂くことができている。

今年度は、利用者の高齢化や障害の重度化に加え、京都市西総合支援学校より新規利用者2名(療育手帳のみ保有)の受け入れもあり、利用者の障害特性の多様化がより進んだ年となつた。

新規利用者2名に関しては、既存の当事業所利用者とは、キャラクターが異なり、活発な方々であり、これまで知的障害を持たれる利用者への支援経験の少ない職員が多い当事業所の状況から、障害特性やご本人の思いの理解を深めていくことが課題として挙げられた。課題解決に向けては、上記同様、職員会議や日々の反省会等で報告(気づき)を挙げ、情報を蓄積し、フィードバックすることで、支援の安定化を図っており、現在も試行錯誤中である。また、京都市発達障害者支援センターかがやきの研修を受講し、障害特性の理解や支援方法の改善等にも繋げている。

現在、利用者数の増加や利用者の障害特性の多様化により、より支援の個別化を要する状況に至っており、時間の問題(余裕の無さ)や職員体制の問題が浮かび上がっていることに加え、コロナ禍の為、実施の自粛や縮小をせざるを得ない日中活動もあり、個々の利用者のニーズを実現することが難しい部分もあった。

今後は、本年度の経験を活かし“自粛する”のではなく、コロナ禍でも“実施できる”よう日中活動の中身や取り組みを工夫し、個々の利用者のニーズを実現できるよう取り組んでいきたい。また、職員の補充等、職員体制の充足も必須事項と考えている。

③チームリーダーが中心となり、部下の育成に努め、個々の力を伸ばしていく。また、研修等にも積極的に参加し、自己研鑽に努める。そして、チームで支援する力を高め、利用者支援の充実を図る。

本年度は、所属長、支援職員2名の交代があり、中堅から若手中心の新体制での開始となった。チームとしては、中堅職員層の活性化(スキルアップ)が重要と考え、アプローチを行ってきた。各中堅職員には、研修参加に加え、チームリーダーや異動職員の指導担当として配置し、引率力、判断力、指導力の強化を図ると共に、中堅職員であることの意識や責任の認識構築も図っており、徐々にではあるが経験を蓄積し、成長に繋がっていると感じている。

異動職員2名に対しては、指導担当(OJT)を付け、4～6月の2ヶ月間を重点的に細かな指導を行った。また、利用者状況や支援方法等の情報共有を重視し、多くの情報を一度に伝えるのではなく、日々の反省会時に実践で得た細かな報告事項(質問や気づき、課題や結果等)を各自が挙げ、既存職員からアドバイス等の情報を受け取り。実践と振り返りを積み重ねることで効率的に安定化を進めた。この取り組みは、既存職員が“他者に伝える”

と言う部分で、現状の支援の在り方を考えるきっかけにもなり、従来の支援の改善にも繋がる部分もあった。

併せて、各職員それぞれがスキルアップをすることで、チームのベースアップに繋げるべく、当法人研修(次世代リーダー研修、中堅職員研修等)等、階層ごとの研修に参加し、キャリアパスを意識しながら、今の自分に必要な知識を学んでもらった。また、次年度のチーム体制を見据えて、資格研修(相談支援従事者初任者研修、喀痰吸引等研修(第3号研修))の受講も計画的に進め、予定通り遂行することが出来ている。

- ④安心、安全な介護を行うためにも、介護の補助となる最新の介護機器等の導入を検討し、職員の介護負担の軽減を図る。

令和2年5月19日より2週間、介護器具業者より介助用電動リフトのデモ機をレンタルし、試行するが、当事業所利用者の身体状況(短下肢の屈曲、側弯、立位保持が難しい等)の関係で沿うものではなく、一旦、見送りとなる。その他、代替え案として、可動式手すり(利用者の残存能力を活用)等の導入も検討、デモ機にて試行したが、現状、最良の物は見つかっていない状況である。現在も引き続き介護器具業者との相談しながら、当事業所でも機能する介護器具を探しているところである。

- ⑤稼働率を安定させ、経営の安定化を図る。目標としては稼働率97%以上を目指す。

令和2年度は新規利用者2名の受け入れを行い、利用契約者数は4月当初、定員20名に対して28名である。令和2年5月に利用者1名が逝去され、令和3年3月には利用者1名が療護園への入所が決定した為、令和3年3月末時点で26名の契約者数となった。稼働率については、新型コロナウィルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言発出(4月)に伴い、利用を自粛される利用者(最大11名/日)もおられた為、4月(85.5%)～5月(81.3%)は、80%台の推移となつたが、緊急事態宣言が解除されて以降6月～12月は、100%前後を推移し、7ヶ月平均102.2%となっている。二度目の緊急事態宣言発出時(令3年1月)に利用を自粛される利用者はおられなかつたが、同月に併設する京都市洛西ふれあいの里療護園で複数の職員、利用者が新型コロナウィルス濃厚接触者に特定される事案があり、両施設全職員、利用者のPCR検査結果(全員陰性)等安全が確認されるまでの間、利用を自粛される利用者(1/20～1/26・9名/日)がおられ、併せて、2月より体調不良等で長期入院される利用者(4名)も重なり、1月～3月は、3ヶ月平均94.8%となる。年間を通しては、平均97.5%となっている。(令和元年度:98.0%)

コロナ関係での自粛利用者に対しては、支援の形を“在宅支援”に切り替え、業務を遂行することで大きな減収(昨年度と同等、ないし上回る)には至らなかつた。

- ⑥洛西ふれあいの里再整備に向けて、5年、10年先の洛西デイの在り方について、職員間で意見交換を行い、利用者のニーズに応えられる施設作りを目指す。

洛西ふれあいの里再整備については、現在、本部事務局が中心となって、京都市と協議を重ねられているところである為、本年度、大規模改修等を見据えた職員間の意見交換の場を持つ機会はなかつた。

しかし、現在利用される利用者にとって必要な環境の改善については、適宜、意見交換を行い、計画的に改修、改善等を進めている。

⑦社会福祉法人としての役割を考え、地域との交流や繋がりを大切にし、公益的な取り組みを通して、地域に開かれた施設を目指す。

実習生、ボランティアの受け入れについては、コロナ禍の為、ほとんどが中止となっている。【中止：京都市新規採用職員福祉体験実習、介護等体験実習、チャレンジ体験実習、福祉体験学習会(桂坂小学校)】

新型コロナウィルス感染状況が一定落ち着いている期間に関しては、京都市立西総合支援学校より福祉施設体験実習 1名、福祉施設見学 1名、就労学習 8名(療護園共通)の受け入れを行い、卒業後の将来を描くきっかけの一つとなるよう関わらせて頂いた。福祉施設体験実習に来られた1名に関しては、令和3年度より当事業所を利用されるに至っている。

その他、例年行っている近隣保育園との合同クリスマスコンサートは、コロナ禍の為、中止となつたが、紙漉き活動にて利用者が協力し合い作成されたクリスマスカードを保育園まで届けている。

⑧利用者及び家族が安心して地域で生活ができるよう、計画相談を行い、他機関とも連携しながら、生活全般を支える。

計画相談利用者 18名。計画相談 18件、モニタリング 14件実施。相談支援専門員が中心となり、利用者やご家族の要望をしっかりとお聴きし、在宅生活を維持できるように、関係機関と協力し合いながら取り組むことができている。本年度は、ご家族の身体状況の変化や高齢化に伴い、居宅支援やショートステイ利用拡充の要望が多く、ニーズを充足できるよう関係機関との連携を進めた。また、在宅生活を維持することが難しく、平日のほぼ全てをショートステイを利用されながら生活を繋いでおられる利用者もおられるが、身体障害を持たれる方が利用できる施設やグループホーム等の社会資源が少なく、生活移行に至るケースは少ない。現状複数名の利用者から生活移行の要望をお聴きする中、本年度は、1名の利用者が併設する京都市洛西ふれあいの里療護園への入所が決まり、当事業所を退所されている。以降もご本人、ご家族(ご高齢で独居となる)が安心して生活できるよう療護園との連携やご家族のケア等には留意している。

その他、障害の重度化に伴い気管カニューレ挿管に至り、喀痰吸引等の医療的ケアが適宜必要になったことで居宅支援(ヘルパー)の利用が困難となった利用者の関係居宅支援事業所(他法人)のヘルパー(5名)に対し、当事業所看護師による実地研修の受け入れを調整し、利用再開に向けて研修を進めた。

引き続き、利用者の生活全体を見据え、生活の幅が広がるようそれぞれができる役割を認識し、他事業所と連携しながら、利用者、ご家族共に安心して生活できる環境を整えられるように相談支援を継続していく必要がある。

5) 情 報

①情報発信、開示の状況

トピックスの年1回発行(行事などの写真を中心の利用者家族向け広報誌)した。また、昨年同様、行事の写真をファイルし、家族懇談会時に見て頂くなど、当事業所での様子をお伝え出来るよう工夫した。

②利用者満足度、苦情解決の状況

大きな苦情には至っていないが、利用者・ご家族からの要望、指摘は日々あり、職員間での伝達、報告の徹底、利用者・ご家族への丁寧な対応を心掛けている。

年度末に個別懇談（本人・家族）を実施している。本年度はコロナ禍の関係もあり、3組のみの参加となったが、その他、利用者については、送迎時や電話等での対応とさせて頂いた。内容に関しては、令和2年度のサービス計画の実施状況・令和3年度に向けての要望などの聞き取りを行い、率直なご意見を伺うことが出来た。また、満足度調査も行い、すべての方から「大変満足している」「満足している」という回答を頂いている。特にコロナ禍での感染対策はじめケア等の対応には安心を得て頂けており、緊急事態宣言下でも閉所することなく事業を継続出来た事への評価は大きかった。何よりも、多くのご家族より「利用者本人が喜んで利用している。」と言う言葉を頂けたことが成果であると考えている。

③リスク管理の状況と課題

アクシデントとしては怪我（転倒）、公用車事故、医療的ケアが必要な利用者の急変等、それぞれ件数は少ないが起こっている。その都度レポートの提出、回覧にて周知すると共に、日々毎日の反省会や毎月の職員会議等で再発防止について確認している。

インシデントレポートに関しては、毎日の反省会の際にヒヤリハットを報告する時間を設けており、日々の支援の中での気づきを大切にし、タイムリーな情報共有、事故防止に努めている。また、毎月、リスク・虐待防止委員会を開催し、前月分のアクシデントレポート、インシデントレポートを再検証し、原因や対策を講じている。

虐待防止に関しても、年3回セルフチェックアンケートを実施し、不適切な支援の早期発見、防止に繋げている。併せて、アンケート結果を集計し、開示すると共に、支援者の自己覚知と意識改善を図っている。

また、浮かび上がった課題に沿った内部研修（『虐待防止法の理解と対応』読み合わせ、障害の理解等）も開催している。

（6）育成

①実習生・ボランティアの受け入れに関しては、コロナ禍の為ほとんどが中止となった。

<実習生>

・福祉施設体験実習 1校(京都市西総合支援学校高等部) 1名 延べ日数 2日

・就労実習(療護園共通) 1校(京都市西総合支援学校高等部) 8名 延べ日数 4日

※京都市新任職員研修、介護等体験実習、チャレンジ体験実習、福祉体験学習会(桂坂小学校)は、中止。

<ボランティア>

紙芝居、オカリナ演奏：例年12回(月1回)の受け入れを行っていたが、コロナ禍の影響もあり、本年度は来所を自粛されている。ボランティア延べ人数0名。

<喀痰吸引3号研修(実地研修・特定利用者)>

当事業所利用者の関係居宅支援事業所(他法人)ヘルパー(5名)に対し、当事業所看護師による喀痰吸引の実地研修の受け入れを行い、随時、研修を進めていたが、利用者本人の不

調に伴い、現在、中断中である。

②職員育成

- ・職員一人一人の成長を促す事を目的とし、各職員には、年度初めに自分自身がどのような目標を持ってこの1年間仕事をしていくのかを目標シートに記してもらった。この作業は、自身を見つめなおし、課題を整理、意識付けすることに有効に働いたと感じている。また、半期には、ヒアリングを実施し、年度初めに挙げた目標の評価(振り返り)を行うことで、課題や目標の再設定を行い、意識の再認識を図った。目標に対しては、実現に向けての助言やサポートも行い、達成することでの成長や自信の獲得、モチベーションの維持、向上に繋げていけるよう努めた(スマールステップを積み重ねる)。また、職員から上がった“〇〇したい。”と言う思いに対しては、すべて承認し、実現できるようにフォロー、バックアップも実施。実施に向けては、“楽しい”だけではなく、“意図”や“実現後の達成イメージ”も考えさせ、自分の思いをより明確にすることで、達成後(成功体験)の得る効果の増幅を図った。
- ・利用者支援や日中活動の充実、事故防止等を行う為、職員一人一人の「気づき」の発信を大切にし、毎日の反省会で報告する項目を設けた。「気づき」に関しては、ヒアリハットのみではなく、利用者の新たな姿(ストレングス)等の報告も大切にしており、職員間で共有するようにした。この取り組みは、職員にとっても“発信する力”や“視野の広がり”を養うことにも繋がっている。
- ・虐待防止研修、救命救急講習等、利用者の人権や命を守る上で必要な研修の実施。
- ・次世代リーダー研修、中堅職員研修等、階層ごとの研修に参加。
- ・喀痰吸引等研修(第3号研修)を新規で2名受講。また、特定利用者に対しての内部実地研修を3名実施し、医療的ケアが必要な利用者に対しての支援体制の充実に繋げた。
- ・相談支援従事者初任者研修1名受講修了。修了後は、相談員としての業務も担い、意識高く、取り組む姿が見られている。

※資格研修受講に関しては、スキルアップ(出来る業務が増える)することでの、モチベーションの向上も図っている。

(7) 地域との交流・連携の状況

- ①コロナ禍の為、例年実施されていた“洛西ふれあいの里秋祭り” “ふれあいの里協力会冬フェスタ” “京都市立西総合支援学校芝生祭り” “桂坂小学校5年生との福祉体験学習会” “桂坂保育園園児とのクリスマスコンサート交流会” “法人関係施設合同での生産展”等の行事や地域ボランティアの受け入れ(桂坂女性会、紙芝居サークル“こもれび”等)は、全て中止となり、地域との交流を深める機会を積極的に持つことが出来なかった。
- ②今出来ることとして、春と秋には地域のクリーンデイに参加し、施設周辺の草刈りやごみ回収を実施している。
- ③新型コロナウィルス感染・拡散状況が落ち着いている期間には、京都市立西総合支援学校より、教職員の施設見学、生徒の福祉施設体験実習・就労実習・施設見学の受け入れを実施している。

④令和2年度地域共生社会実現サポート補助金を活用し、福祉避難所としてのライフライン機能を強化(ポータブル電源、ポータブルソーラーパネルの設置、備蓄食品の拡充等)したこと、災害時には地域の方々の受け入れを率先して行うことを可能にし、被災者の安全、安心(生命の保持)の確保に繋げた。

(8) 施設整備の状況

- ①吸収式冷温水発生機（冷暖房）が老朽化している為、部品交換等を行い、大規模な修繕を行っている。
- ②食堂水場の床が水漏れ等によって腐食していた為、修繕している。
- ③乗用車タイプの公用車1台を車いすの方(1名)も乗車できるタイプ(スロープ車)に更新している。
- ④事業所内 wifi 環境を整備し、タブレット、ノートPCを導入。業務の効率化、及び、利用者支援ツール(バイタルデータ管理、コミュニケーションツール、訓練動画等による支援マニュアル等)への活用を試行中である。
- ⑤コロナ禍に伴う室内3密状態回避の為、屋外活動スペースの拡充に向けて、中庭の整備を進めている。本年度は、防草シートの設置、砂利敷を施行。2021年度内には、車いす利用者も中庭を利用しやすくするため、テラスの設置を予定している。
- ⑥介護補助機器導入に関しては、介護器具業者よりデモ機をレンタルし、試行するも当事業所利用者の身体状況に沿うものは見つかっておらず、一旦、見送りとなる。現在も介護器具業者との相談は継続し、当事業所でも機能する介護器具を探していくところである。

京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター区分 資金収支計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入	障害福祉サービス等事業収入	[96,930,000]	[96,571,999]	[358,001]
	自立支援給付費収入	(90,650,000)	(87,681,263)	(2,968,737)
	介護給付費収入	90,180,000	87,222,613	2,957,387
	計画相談支援給付費収入	470,000	458,653	11,350
	特定費用収入	(1,910,000)	(1,892,631)	(17,369)
	特定費用収入 (課税)	0	33,131	△ 33,131
	特定費用収入 (非課税)	1,910,000	1,869,500	50,500
	その他の事業収入	(4,370,000)	(6,998,105)	(△ 2,628,105)
	補助金事業収入 (公費) 不課税	4,230,000	6,946,655	△ 2,716,655
	受託事業収入 (公費) 課税	110,000	26,400	83,600
	その他の事業収入 (課税)	30,000	200	29,800
	その他の事業収入 (不課税)	0	24,650	△ 24,650
	その他の収入	[940,000]	[895,160]	[43,840]
	受入研修費収入	60,000	5,500	54,500
	利用者等外給食費収入	880,000	778,300	101,700
	雑収入	(0)	(112,360)	(△ 112,360)
	雑収入 (不課税)	0	112,360	△ 112,360
事業活動収入計(1)		97,870,000	97,468,159	401,841
事業活動による収支	人件費支出	[58,880,000]	[58,985,764]	[1,894,236]
	職員給料支出	(28,500,000)	(28,965,295)	(534,795)
	職員給料支出 (課税)	720,000	693,920	26,080
	職員給料支出 (不課税)	28,780,000	28,265,375	514,625
	職員賞与支出	6,710,000	6,602,960	107,040
	非常勤職員給与支出	(18,620,000)	(12,707,133)	(312,867)
	非常勤職員給与 (課税)	480,000	397,540	62,460
	非常勤職員給与 (不課税)	18,160,000	12,303,593	850,407
	退職給付支出	1,310,000	1,294,334	15,666
	法定福利費支出	7,740,000	7,416,042	323,958
	事業費支出	[9,050,000]	[7,791,912]	[1,258,088]
	給食費支出	1,870,000	1,943,986	△ 73,986
	保健衛生費支出	60,000	337,876	△ 277,876
	教養娯楽費支出	100,000	121,012	△ 21,012
	水道光熱費支出	(1,200,000)	(1,059,983)	(140,017)
	電気料	370,000	274,962	95,038
	ガス料	520,000	473,698	46,302
	上下水道料	310,000	311,323	△ 1,323
	燃料費支出	0	768	△ 768
	消耗器具備品費支出	2,220,000	1,656,724	563,276
	保険料支出	490,000	553,970	△ 63,970
	賃借料支出	200,000	202,040	△ 2,040
	教育指導費支出	840,000	435,182	404,818
	車輌費支出	(2,030,000)	(1,480,571)	(549,629)

京都市洛西ふれあいの里デサービスセンター区分 資金収支計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
支	燃料油脂費	1,300,000	1,112,384	187,616
出	その他の車両費	730,000	367,987	362,013
	雑支出	(40,000)	(0)	(40,000)
	雑支出（課税）	20,000	0	20,000
	雑支出（不課税）	20,000	0	20,000
	事務費支出	[8,860,000]	[5,796,809]	[4,063,191]
	福利厚生費支出	(410,000)	(575,947)	(△ 165,947)
	福利厚生費（課税）	260,000	469,267	△ 209,267
	福利厚生費（不課税）	150,000	106,680	43,320
	旅費交通費支出	70,000	3,750	66,250
	研修研究費支出	50,000	37,080	12,920
	事務消耗品費支出	430,000	314,274	115,726
	印刷製本費支出	90,000	90,602	△ 602
	修繕費支出	4,600,000	918,608	3,681,392
	通信運搬費支出	250,000	299,012	△ 39,012
	会議費支出	10,000	770	9,230
	広報費支出	210,000	278,982	△ 68,982
	業務委託費支出	2,560,000	2,505,949	54,051
	手数料支出	170,000	81,167	88,833
	租税公課支出	310,000	155,000	155,000
	保守料支出	510,000	505,372	4,628
	涉外費支出	10,000	2,500	7,500
	諸会費支出	(110,000)	(4,630)	(105,370)
	諸会費支出（課税）	40,000	630	39,370
	諸会費支出（不課税）	70,000	4,000	66,000
	雑支出	(60,000)	(23,166)	(36,834)
	雑支出（課税）	50,000	23,166	26,834
	雑支出（不課税）	10,000	0	10,000
	支払利息支出	[30,000]	[23,838]	[6,162]
	その他の支出	[560,000]	[476,360]	[83,650]
	利用者等外給食費支出	560,000	476,360	83,650
	事業活動支出計(2)	78,380,000	71,074,573	7,305,327
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	19,490,000	26,333,486	△ 5,903,486
施	固定資産売却収入	[0]	[64,820]	[△ 64,820]
入	車両運搬具売却収入	0	64,820	△ 64,820
設	その他の施設整備等による収入	[0]	[12,310]	[△ 12,310]
整	差入保証金返還収入	0	12,310	△ 12,310
整	施設整備等収入計(4)	0	76,930	△ 76,930
備	固定資産取得支出	[4,950,000]	[6,389,048]	[△ 1,439,048]
等	建物取得支出	320,000	3,231,580	△ 2,911,580
以	車両運搬具取得支出	3,300,000	2,350,360	949,640
上	器具及び備品取得支出	1,000,000	807,108	192,892

京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター区分 資金収支計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
支 出	ソフトウェア取得支出	330,000	0	330,000
	ファイナンス・リース債務の返済支出	[280,000] [274,132]		5,868
	その他の施設整備等による支出	[30,000] [10,380]		19,620
	長期前払費用支出	30,000	10,380	19,620
	施設整備等支出計(5)	5,260,000	5,673,560	△ 1,413,560
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 5,260,000 ▲ 5,536,530		1,336,630
そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出	その他収入			
	その他の活動収入計(7)	0	0	0
支 出	積立資産支出	[1,600,000] [32,300,000]	[▲ 30,700,000]	
	修繕積立資産支出	1,600,000	2,300,000	△ 700,000
	施設整備等積立資産支出	0	30,000,000	△ 30,000,000
	拠点区分間繰入金支出	[12,630,000] [13,395,000]	[▲ 765,000]	
	その他の活動支出計(8)	14,230,000	45,695,000	△ 31,465,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 14,230,000 △ 45,695,000		31,465,000
予備費支出(10)		0		0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0 △ 25,898,144		25,898,144
前期末支払資金残高(12)		0	36,793,294	▲ 36,793,294
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	10,895,150	△ 10,895,150

京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター区分 事業活動計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	障害福祉サービス等事業収益	[96,571,999]	[90,106,432]	[5,465,567]
	自立支援給付費収益	(87,681,263)	(84,260,245)	(3,421,018)
	介護給付費収益	87,222,613	88,771,365	3,451,248
	計画相談支援給付費収益	458,650	488,980	△ 30,230
	特定費用収益	(1,892,631)	(1,974,087)	(△ 81,456)
	特定費用収益(課税)	33,131	11,092	22,039
	特定費用収益(非課税)	1,859,500	1,962,996	△ 103,496
	その他の事業収益	(6,993,105)	(3,872,100)	(3,126,005)
	補助金事業収益(公費)不課税	6,945,655	3,730,000	3,215,655
	受託事業収益(公費)課税	28,400	24,200	2,200
	その他の事業収益(課税)	200	95,850	△ 95,650
	その他の事業収益(不課税)	24,850	22,050	2,800
	経常経費寄附金収益	[69,000]	[0]	[69,000]
サービス活動収益計(1)		96,640,999	90,106,432	6,534,567
サービス活動増減の部	人件費	[57,055,754]	[57,180,286]	[△ 124,532]
	職員給料	(28,965,295)	(29,176,126)	(△ 210,830)
	職員給料(課税)	699,920	581,670	118,250
	職員給料(不課税)	28,265,375	28,594,455	△ 329,080
	職員賞与	4,252,930	4,423,187	△ 170,227
	賞与引当金繰入	2,420,000	2,350,000	70,000
	非常勤職員給与	(12,707,133)	(12,412,560)	(294,573)
	非常勤職員給与(課税)	397,540	451,728	△ 54,188
	非常勤職員給与(不課税)	12,309,593	11,960,832	348,761
	退職給付費用	1,294,334	1,298,857	△ 4,523
	法定福利費	7,416,042	7,519,537	△ 103,495
	事業費	[7,860,912]	[6,077,413]	[1,783,499]
	給食費	1,943,986	1,571,286	372,700
	保健衛生費	837,876	0	837,876
	教養娯楽費	121,012	37,549	83,463
	水道光熱費	(1,069,983)	(1,129,837)	(△ 69,854)
	電気料	274,962	290,938	△ 15,976
	ガス料	473,698	532,755	△ 59,057
	上下水道料	311,323	306,144	5,179
	燃料費	768	0	768
	消耗器具備品費	1,725,724	672,161	1,053,563
	保険料	553,970	305,150	248,820
	賃借料	202,040	188,522	13,518
	教育指導費	435,182	615,059	△ 179,877
	車輌費	(1,480,371)	(1,557,849)	(△ 77,478)
	燃料油脂費	1,112,384	1,210,820	△ 98,436
	その他の車両費	387,987	347,029	20,958
	事務費	[5,796,809]	[4,614,747]	[1,182,062]

京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター区分 事業活動計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
		福利厚生費	(575,947)	(298,712)	(279,235)
		福利厚生費（課税）	469,267	189,758	279,509
		福利厚生費（不課税）	106,680	106,954	△ 274
		旅費交通費	3,750	77,670	△ 73,920
		研修研究費	37,080	8,040	29,040
		事務消耗品費	314,274	383,142	△ 68,868
		印刷製本費	90,602	90,100	502
		修繕費	918,608	647,476	271,132
		通信運搬費	298,012	211,973	87,039
		会議費	770	2,200	△ 1,430
		広報費	278,982	4,050	274,932
		業務委託費	2,505,949	2,150,558	355,391
		手数料	81,167	46,952	34,215
		租税公課	165,000	88,450	76,550
		保守料	505,372	537,857	△ 32,485
		涉外費	2,500	2,500	0
		諸会費	(4,630)	(64,000)	(△ 59,370)
		諸会費（課税）	630	0	630
		諸会費（不課税）	4,000	64,000	△ 50,000
		雑費	(23,166)	(3,027)	(20,099)
		雑費（課税）	23,166	3,067	20,099
		減価償却費	[4,366,279]	[2,730,313]	[1,635,966]
		国庫補助金等特別積立金取崩額	[△ 150,971]	[△ 134,246]	[△ 16,725]
		サービス活動費用計(2)	74,928,793	70,458,496	4,460,297
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	21,712,206	19,637,936	2,074,270
サービス活動の部	受入	その他のサービス活動外収益	[896,160]	[951,090]	[△ 54,930]
	益	受入研修費収益	5,500	10,800	△ 6,300
	利	利用者等外給食収益	778,300	940,290	△ 161,990
	用	雑収益	(112,360)	(0)	(112,360)
	活	雑収益（不課税）	112,360	0	112,360
外増減用の部	動	サービス活動外収益計(4)	896,160	951,090	△ 54,930
	外	支払利息	[23,988]	[24,238]	[△ 250]
	費	その他のサービス活動外費用	[476,350]	[568,050]	[△ 91,700]
	減	利用者等外給食費	476,350	568,050	△ 91,700
	用	サービス活動外費用計(5)	500,338	592,288	△ 91,950
特別収益の部	増	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	395,822	358,802	37,020
	減	経常増減差額(7)=(3)+(6)	22,138,028	19,996,738	2,111,290
	用	固定資産売却益	[64,619]	[190,268]	[△ 125,649]
	の	車両運搬具売却益	64,619	190,268	△ 125,649
別	増	施設区分間固定資産移管収益	[133,586]	[0]	[133,586]
	減	特別収益計(8)	198,205	190,268	7,937

京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター区分 事業活動計算書

(自) 2020年 4月 1日 (至) 2021年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
減 費	国庫補助金等特別積立金積立額	[1,123,688]	[0]	[1,123,688]
の 用	拠点区分間繰入金費用	[13,395,000]	[11,580,000]	[1,805,000]
部 部	特別費用計(9)	[14,518,688]	[11,580,000]	[2,928,688]
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ [14,320,483]	△ [11,399,732]	△ [2,920,751]
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	[7,787,545]	[8,597,006]	△ [809,461]
繰 前期繰越活動増減差額(12)		[59,508,126]	[60,911,120]	△ [1,402,994]
越 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		[67,295,671]	[69,508,126]	△ [2,212,455]
活 基本金取崩額(14)		[0]	[0]	[0]
動 その他の積立金取崩額(15)		[0]	[0]	[0]
増 その他の積立金積立額(16)		[32,300,000]	[10,000,000]	[22,300,000]
減 修繕積立金積立額		[2,300,000]	[10,000,000]	△ [7,700,000]
額 施設整備等積立金積立額		[30,000,000]	[0]	[30,000,000]
の 次期繰越活動増減差額				
部 (17)=(13)+(14)-(16)-(15)		[34,995,671]	[69,508,126]	△ [24,512,455]

東山市洛西ふれあいの里デイサービスセンター区分 貸借状況表

2021年3月31日現在

社会福祉法人東山総合福祉協会

(単位：円)

別定科目	貸出の部		貸借の部		前年期末 当年度末	前年期末 当年度末
	当年度末	前年度末	貸定科目	貸借の部		
流动資産	25,014,607	44,664,267	△ 19,645,706	流动資産	△ 16,736,946	△ 6,240,016
現金預金	E,839,914	19,769,457	△ 12,075,453	現金預金	△ 6,140,076	△ 2,524,242
事業未収金	14,452,093	13,378,143	△ 770,986	事業未収金	36,699	△ 56,050
未敷衍取金	3,673,560	2,810,360	△ 1,068,506	1年以内返済予定期リース債務	19,588	△ 273,997
拠点区分賃貸付金	△ 8,611,367	△ 8,611,367	△ 8,611,367	預り金	428	△ 214
固定資産	31,445,705	66,381,281	△ 34,454,424	固定資産	95,699	△ 991
その他の固定資産	31,445,705	66,381,281	△ 34,454,424	固定資産	2,420,309	△ 76,000
建物	15,164,124	13,307,374	△ 1,856,750	建物の部合計	137,917	△ 191,673
不動産機具 器具及び備品	10,195,176	9,981,231	△ 234,945	国庫補助金等特別積立金	328,580	△ 328,580
有形リース資産	2,367,160	2,013,739	△ 346,361	△ 295,919	△ 572,717	△ 525,882
ソフトウエア	54,738	103,225	△ 57,285	国庫補助金等特別積立金	△ 246,579	△ 325,882
無形リース資産	0	9,720	△ 9,720	その他の積立金	△ 31,810,360	△ 32,300,360
積立資産	293,567	500,364	△ 206,807	その他の積立金	△ 33,300,360	△ 34,000,000
金入保証金	32,300,360	31,900,000	△ 320,000	大學生就活助助成費差額	34,256,671	△ 24,512,455
長期貯蓄費用	39,360	30,430	△ 930	(うち当本期活動費差額)	7,787,545	△ 819,461
資産の部合計	E2,700	101,661,498	-4,608,724	減資元の記合計	99,352,250	△ 99,352,250
					116,463,212	△ 104,651,488
						14,303,724

計算書類に対する注記（京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

◇満期保有目的の債券：償却原価法(定額法)

(2) 固定資産の減価償却の方法

◇有形固定資産： 定額法による減価償却を実施する。

- ・平成18年3月31日以前に取得した有形固定資産については残存価額を取得価額の10%として償却を行い、耐用年数到来後も使用する場合には償却価額(1円)まで償却する。
- ・平成19年4月1日以降に取得したものについては、減価償却累計額が当該資産の取得価額から償却価額(1円)を控除した金額に達するまで償却する。

◇無形固定資産： 定額法による減価償却を実施する。

- ・残存価額は0円とし、償却累計額が当該資産の取得価額に達するまで償却する。

◇リース資産

- ・ファイナンス・リース取引： 所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。ただし、重要性が乏しいものについては賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

(3) 引当金の計上基準

◇賞与引当金

- ・職員に対する賞与の支給に備えるため、当該支給予定額のうち当年度に帰属する期間に相当する金額を賞与引当金に計上している。

◇徴収不能引当金

- ・なし

(4) 消費税等の会計処理

- ・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

人狼自の退職給付制度

- ・社会福祉施設職員等退職手当共済法の適用を受けることが出来ない職員に対して支給される額で、年度末における同共済法の定める所により算出し、交付される額に準じて算出した額による

◇京都社会福祉事業企業年金基金の実施する確定給付企業年金制度

◇独立行政法人福祉医療機構の実施する退職給付制度

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター拠点区分事業活動明細書（別紙3⑩）

- ア 生活介護事業
- イ 特定扶助支援事業

(3) 拠点区分収支明細書（別紙3⑩）は省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	25,338,060	10,173,936	15,164,124
車両運搬具	17,568,281	7,372,505	10,196,176
器具及び備品	4,456,914	2,094,814	2,362,100
有形リース資産	459,704	424,766	34,938
合計	47,823,355	20,066,021	27,757,338

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし			
合計			

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び

純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし